



五中だより

令和 6 年 9 月 3 0 日
小平市立小平第五中学校
校長 伊藤 克行
小平市小川町 1 - 7 9 8

日本人学校について

校長 伊藤 克行

9月18日、中国広東省深圳市にある日本人学校に登校中の男子児童（10歳）が刃物で中国人男性に突然刺されて亡くなるという事件がありました。私自身が、かつて中国の上海日本人学校に勤務していたこともあり、とても他人事とは思えませんでした。皆さんと同じ義務教育を受けている児童に起きた二度とあってほしくない悲しい事件です。今回は、私が知っている日本人学校のことについて皆さんに紹介したいと思います。

日本人学校とは日本国内の小学校、中学校又は高等学校における教育と同等の教育を行うことを目的とする、全日制の学校です。現地の学校とは異なり日本語で授業が行われ、中学校であれば皆さんと同じ9教科を学びます。運営は日本人会（長期在住する日本人による組織）等や現地進出企業の代表者、保護者の代表などからなる学校運営委員会によって行われています。そういった意味では私立の学校ということになります。ただし、文部科学省は全国の公立学校教員を派遣する形で学校をサポートし、外務省は施設面や安全面などの援助を行っています。令和6年4月15日現在では、世界49カ国・1地域に94校が設置されており、約1万6千人が学んでいます。

皆さんの立場で想像すると、もし保護者の方が海外に転勤となり、皆さんが保護者と同行することになれば、「現地校」（現地の言葉で現地の教育をうける）に通うか、日本と同じ教育を受けられる「日本人学校」に通うかを選択することになるわけです。海外で生活できることをうれしいと感じる人もいるかもしれませんが、小学生・中学生の多くは複雑な思いを抱えて、現地に赴くこととなります。例えば、今まで仲良くしていた友人たちとの別れ（しかも簡単に会うことはできません。）や、ずっと続けてきた習い事・部活動などをやめなければならないことなどです。保護者の方は仕事ですから、やむを得ないと思えても、その子どもである皆さんは年齢が上であればあるほど、簡単に受け入れることはできないことが多いわけです。

海外といっても広範囲になりますので、どの地域に行くかによって大きな違いがあります。日本と同じように安全な国なのか、日本とどんな関係にあって、どんな対日感情を持っている国なのかなど、一つとっても意識することや感じることは異なります。

私が赴任した上海も、今回事件のあった深圳も同じ中国です。これまで歴史を学んできた皆さんなら中国の対日感情については少し想像できるはずです。通学はバス通学が原則、部活動は時間割に組み込まれた週1時間のみで日本の本格的な部活動とは遠く離れたものでした。集団で下校し、家も離れ離れ、こどもたちだけで家の外に簡単に出入される治安状況ではありませんでしたので、こどもたちに放課後はありません。だからこそ学校にいる間は、こどもたちにとって保護者のもとを離れ、友達と楽しい時間を過ごすことのできる、大切な時間でした。

私自身は1歳半の双子の娘をつれて上海に赴任しましたが、娘たちを日本人が一人もいない現地の幼稚園に行かせました。どうなることか大変心配しましたが、私たちの心配をよそに、娘たちは大いにかわいがってもらい、幸せな生活を送ることができました。

さて、日本人学校の紹介は一部分だけでしたが、今の皆さんとの生活の違いや、学校に対する思いなどが少し想像できましたか。海外における日本人学校が、現地に住む皆さんと同年代のこどもたちにとって、安心して安全な場所であることがどれだけ大切なことか、少しだけでもイメージをもってほしいという思いで書きました。お亡くなりになった児童のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

お知らせ・ご紹介

○ 8組上級学校訪問

8組では9月17日に上級学校訪問を行いました。これは、コロナ前に行っていた職場体験を再度行うにあたって内容を再検討し、都立特別支援学校へ進学した際のイメージをもてるようにと考えて令和5年度から始めた取組です。毎年行先を変え、3年間で3校を訪問できるように計画しています。学校の紹介や授業の見学に加え、就労の準備をする授業の一部を体験する内容もあります。(写真はビルクリーニングコースの体験をしている様子です)。進学や将来の就労のイメージをもって進路に興味をもてるように取り組んでいます。



ビルクリーニングの体験

○ 2学年職場体験

新型コロナウイルス感染症の流行により、中止や実施日数の変更をしていた職場体験ですが、今年度は数年ぶりに10月2日から4日の3日間実施します。

生徒は様々な受け入れ先で、従業員の方々と一緒になって働く体験をします。初対面の大人とコミュニケーションを取り、関係を構築しながら、受け入れ先によっては一般の方々の接客も行います。

3日間の体験を通して、生徒は「働く」ことや「人と関わって生きていく」ことについて感じ、学ぶことと思います。

○ 薬物乱用防止教室・学校公開

薬物乱用の危険性や望ましい健康観について学ぶことを目的として、10月12日(土)に薬物乱用防止教室を行います。講師の方が所属する「八王子ダルク」は、薬物依存症から回復して社会復帰を目指す民間のリハビリ施設です。近年市販薬の過剰摂取等、薬物の危険を以前よりも身近に感じるようになっていきます。創業者から現在のスタッフまで、ほぼ全員が薬物依存症の回復者で運営されている「八王子ダルク」の方だからこそ、生徒へより伝わる話をしていただけると考えてお呼びしています。

保護者の皆様にも講演の様子を学校内でオンライン配信いたします。また、当日は学校公開も併せて行います。詳細は開催通知にてお知らせいたしますので、是非ご参観ください。

○ 【保護者向けこだご企画】給食センター見学・試食会

学校給食の献立を見て、実際に食べてみたいと思ったことはないでしょうか。

今年度も、小平市学校給食センターにて施設見学と試食会を実施します。

日程 12/11(水)

場所 小平市学校給食センター(所在地 小平市小川東町5丁目17-10)

※詳細・申込については追ってスクールメールにてお知らせします。

お知らせ・ご紹介した学校行事や取組については、その様子を学校HPにてお伝えします。その他にも日々の学校生活の様子や資料を掲載していますので、是非ご覧ください。

【 <https://www.kodaira.ed.jp/35kodaira/> 】

